

# 議会の手帖 212

～いつも市民の一番身近に・いぬやま市議会だより～

2026.2.1



# 11月の定例会議会で犬山市のこんなことが決まりました。

## 11月定例会議会

(22日間・11月28日～12月19日)は

○市長提出議案……………24件

が提出されました。

すべての議案名と結果は、  
犬山市議会ホームページを  
ご覧ください。



議決結果一覧  
はこちら

今号では  
この中から  
3つを選びました

第84号議案 犬山市火入れに関する条例の一部改正について  
第88号議案 犬山市火災予防条例の一部改正について

### Pick up 2 林野火災の予防に関する事項等を定めました。

【内容】  
林野火災注意報や林野火災警報についての取扱  
を整備することで、的確な注意喚起や制限によ  
り、火災予防の実効性を高めます。

こんな質問が出ました。

Q 野焼き・たき火・火入れの  
違いは。

A 廃棄物の処理及び清掃に  
関する法律等では、「野  
焼き」は、定義された言  
葉ではありませんが、基  
準を満たす焼却炉以外で  
廃棄物を燃やすことを原  
則禁止しています。一方、  
消防関連法令で「たき火」  
は、設備器具の使用の有  
無によらず、火を焚く形  
態一般のことを指します。  
森林法に基づく「火入れ」  
は、森林または森林の周  
囲1kmの範囲内にある土  
地において、立木竹、雑



Q 神事のたき火（どんど焼  
き等）は、燃焼行為の対  
象として届出が必要か。

A 届出は必要です。その他  
にキャンプ場ややるキャ  
ンプファイヤーもたき火  
の対象となっており、消  
防署に届出が必要となっ  
ています。

草、堆積物等を面的に焼  
却する行為と定義されて  
います。

第78号議案 犬山市部設置条例の一部改正について

### Pick up 1 健康福祉部を「ふくし部」「子ども健 康部」へと分割します。

【内容】  
新たな部を設置することで、責任の明確化、意  
思決定の迅速化を図り、速やかな対応を可能と  
します。

こんな質問が出ました。

Q 今回、ふくし部をあえて  
ひらがな表記にした理由  
は何か。

A 漢字表記した場合、児童  
福祉法、老人福祉法など  
いわゆる社会福祉六法に  
規定されるような生活に  
困窮した方への生活保障  
や、心身に障害のある方  
や社会的弱者への支援を  
イメージされます。ひら  
がな表記としたのは、や  
わらかいイメージという  
面もありますが、既存の  
保護や制度よりも幅広い  
意味で、普段(㊦だん)



の暮らし(くらし)の幸  
せ(あわせ)を考えて  
いくという意味を込めて  
います。

Q 分割によって、どのよう  
に変わっていくのか。

A 条例等の規定上、所掌事  
務の範囲や責任を明確に  
して、意思決定の迅速化  
を図ります。

第91号議案 羽黒中央公園に係る指定管理者の指定について

### Pick up 3 羽黒中央公園に係る指定管理者を 指定します。

【内容】  
指定管理期間が、令和8年3月31日で満了とな  
るため、公募型プロポーザル方式により、新た  
に指定管理者を指定します。

こんな質問が出ました。

Q これまでの事業内容の評  
価はどのようなものか。  
指定管理者の評価につい  
ては、利用者アンケート  
や指定管理者による自己  
評価とあわせて、行政に  
よる指定管理業務の評価  
を実施しています。この  
評価では、指定管理者の  
職員配置や情報の取扱い、  
安全管理などの管理運営  
に関する項目に加え、施  
設活性化のための企画事  
業の効果など、施設管理  
と利用者へのサービス向  
上の視点から評価を行い、

その結果を点数化して市  
公式ホームページで公表  
しています。

Q 指定管理料が前回より約  
1億円上がっているが、  
その理由は。

A 令和3年度の指定管理協  
定締結から5年が経過し、  
この間の物価高騰ととも  
に、今後も人件費等の上  
昇が見込まれることから、  
増加をしているものです。



**A** 無人で自動運転可能な都市型自走式ロープウェイは、観光にも、市民生活にも活用できる可能性があります。また先進的な公共交通システムということで、高校生の夢の詰まった提案だと思います。自走式ロープウェイは、運転者不足の解消のほかにも、道路の交通渋滞などの影響を受けず、信号待



**A** 本市は、婚活イベントや



**Q** 10月31日に行われた犬山市総合高校と犬山市議会との意見交換会で高校生から様々な提案を受けた。今後、自動車運転者不足の深刻化に対応することも求められる。夢のある楽しいまちづくりをするため、現在、開発および実用化に向けた各実証実験の段階にある都市型自走式ロープウェイを研究してはどうか。

ちもないため、非常に高い定時性と安全性が確保でき、効率的な運行が可能です。という特徴があります。しかしながら建設費は、モノレールに比べて約5分の1の低コストではあるものの、条件によりますが、莫大な費用が必要です。本市としては、引き続き先進自治体の実証実験や導入状況を見守っていきたく考えています。

**Q** 本市の婚姻数と出生数について、近年の傾向はどうか。

新婚世帯への補助などの取組は、市に愛着や魅力を感じて「住むまち」として選択されることに直結するものでないと考えており、今後も実施する予定はありませんが、国の補助金などの積極的な活用は財政面で不可欠なため、他自治体の先進事例も参考に活用に向けて研究を続けていきます。また、「住むまち」犬山として、屋内型キッズスペースやひばりヶ丘公園等の整備、子どもの権利条例の制定を通じて、子育て支援で少子化対策に繋がっていきます。

### 自走式ロープウェイについて



日本共産党 犬山市議団 小川 隆広

### 人口減少と少子化対策について



創大会 玉置 幸哉

### 討論

(第91号議案) 羽黒中央公園に係る指定管理者の指定について	賛成	島田議員	現在の指定管理において、民間事業者の専門知識やブランド力を活かし、令和6年度は過去最高の収益となっている。指定管理者の選定については、条例施行規則に基づき適正に実施されていると判断する。令和3年度の指定管理料締結から5年が経過し、この間、物価高騰・人件費等上昇が見込まれることから増加しているもので、適正な指定管理料と考える。
	反対	岡村議員	指定管理者制度の問題点として、委託先が利益を確保し、人件費を削減する構造となっている。業者選定時点で申請は1件となっており、競争性が働かず固定化している。また、指定管理料は5年間で6億3,074万円にも及び妥当性にかける。また、市職員のノウハウが蓄積されず、将来的な直営選択肢を狭めている。
(請願第3号) 育休退園制度廃止を求める請願書	賛成	小川隆広議員	令和8年度は2園の統合により保育士に余裕が生じるため、待機児童の対応や、育休退園制度の廃止についても対応できる可能性が示されている。この制度廃止の可能性を確かなものにしたという請願者の求めは十分理解でき、採択すべきと考える。
	反対	増田議員	本市において既に前向きに検討を進め、保育の充実に取り組んでいることから、請願の趣旨には賛同できない。
(請願第4号) 犬山市の保育・子育ての充実を求める請願書	賛成	小川隆広議員	本来、学校給食は、成長期の子どもの栄養確保・健康保持のため、憲法第25条を具現化した政策である。また、保育士処遇改善は、普通交付税の「こども子育て費」を創設し国も後押しする政策であり、立山町や西宮市のように単費で保育士を支援している自治体もあるため、市税投入の優先順位について一石を投じられたものである。
	反対	増田議員	限られた財源の中、学校給食費一部無償化や、物価高騰に対応するため、調理方法の工夫など最善の努力を行っており、子育て世帯の負担軽減にも寄与していると考え。また、保育士の処遇についても、働きやすい職場環境の整備に最大限努めており、現時点の令和7年度離職者はゼロ、令和8年度新規採用も12名を予定している。このことは、働きやすい職場環境の提供ができていないと評価されるものと考え。

11月定例議会では、24件の市長提出議案を可決し、請願2件を不採択としました。全員一致を除く賛否については下記のとおりです。また、主な討論の内容については左記のとおりです。

議会の主な議案等にチェック

提出議案に賛成・反対しました



請願は  
こちら



すべての  
賛否一覧  
はこちら

### 令和7年11月定例議会 議案の賛否 (全会一致以外)

○：賛成 ×：反対 議：議長 除：除斥 退：退席 欠：欠席

議案等番号	件名	議決結果	日本共産党 犬山市議団		公明クラブ		創大会					清風会			〇	〇				
			小川隆広	岡 覚	岡村千里	島田亜紀	諏訪 毅	増田修治	光清 毅	小川清美	畑 竜介	玉置幸哉	柴田浩行	大沢秀教			鈴木伸太郎	沼 靖子	久世高裕	柴山一生
第91号議案	羽黒中央公園に係る指定管理者の指定について	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	育休退園制度廃止を求める請願書	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○
請願第4号	犬山市の保育・子育ての充実を求める請願書	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○

一般質問

地域を支える民生委員が安心して活動できる体制を



清風会 沼 靖子

Q 民生委員の高齢者見守り活動について、市はどのように把握し、高齢者あらしん相談センターとの連携を含め、活動を支える支援体制を整えているか。

A 民生委員本人や高齢者あらしん相談センターからの相談・報告により把握しています。役割を「見守り」と「つなぎ」に明確化し、負担が過度にならないよう配慮しています。基本的な連携は確保されていますが、緊急時や困難ケースの集中、職員異動により一時的に弱まる可能性があり、その際は市がバックアップし、市民支援が途切れないよう対応しています。

Q ようになっているのか。緊急時の対応に対する改善策は。

A 法人変更時は、市が引継ぎ内容を確認しています。法人内異動では詳細確認まで行っていない。一部で責任者不在の引継ぎもあり、課題を洗い出し、対策を進めます。あらしん相談センターへの連絡体制は、24時間対応可能で、緊急の通報などを逃さないような体制を確保しています。

Q センター職員の交代や不在時における引継ぎ、情報共有、相談体制はどの



文字・活字文化の振興について



創犬会 増田 修治

Q 近年、月1冊も本を読まない人が6割と言われ、活字離れが深刻視されている。本市の読書推進の取組を伺う。

A 図書館でブックキャンプを開設するなど、子どもの頃から読書習慣を付けられるよう、様々な事業を進めております。

Q 本市は素晴らしい取組を行っているが、読書・活字離れは大人の課題とも言われている。生涯学習プランも内包した読書活動推進計画の策定も検討してはどうか。

A 令和6年3月に第三次犬山市子ども読書活動推進計画を策定し、概ね5年を計画期間としています。次の計画策定で、大人も含めた推進計画とするか検討してまいります。

Q 長野県小布施町では、町内の銀行や事業所、病院等に、店主厳選の本を置き、町全体で読書機会を創出する「まちじゅう図書館」を進めている。本市も検討してはどうか。



A 気軽な本にふれられる環境作りは、読書文化作りに大変役立てられると認識しています。様々な課題があるため、引き続き調査研究を行い、本市に適した手法を検討してまいります。

鳥獣対策について



創犬会 光清 毅

Q 鳥獣被害対策は、寄せない、入れない、増やさないことが3大対策であることは認識しているが、どのような点に力を入れているのか。

A 農地を柵などで効果的に囲うことで、直接的な被害を防ぐことができます。また、野生鳥獣が集落に近づく原因を解消する取組の啓発に努めています。さらに、猟友会と連携した捕獲の取組を継続していきます。

Q 対応マニュアルに基づく、初動体制を中心とした訓練を実施することを提案するが、市はどのように考えているのか。

A 全国的にクマ被害が増加している状況を見て、マニュアルの総点検を実施しており、12月中旬に机上訓練から実施する予定です。

Q 猟銃による確保を可能にする緊急銃猟に対応したマニュアル整備を検討する考えはないか。

A 対応マニュアルにおいて、緊急銃猟が連動して運用できるようにする考えです。



道路交通法改正による自転車利用者について



公明クラブ 諏訪 毅

Q 犬山市内の自転車事故の発生件数はいかがか。

A 犬山警察署管内における自転車的人身事故については、令和4年度が69件、令和5年度が82件、令和6年度が84件で年々微増している状況です。事故の主な原因としては、一時停止無視による出会い頭の衝突が、大多数を占めると聞いています。

Q 市内の自転車事故が年々微増しているが、交通安全教室などの実施状況はいかがか。

A 交通安全教室を実施している犬山警察署に確認したところ、小学校、中学校、高校、老人会や町内会で実施しており、また、技能実習生を対象として、企業や日本語学校にも定期的な訪問して実施しています。内容は、講話や

Q 自転車を用いた実技を中心にを行っています。

A 令和8年4月から16歳以上の自転車利用者の交通違反について導入される交通違反制度について、市民へ周知すべきと考え

A 自転車の交通違反の対象となる行為は、スマホ等ながら運転、傘さしや大音量でのイヤホン等使用運転などがあげられます。市としては、広報やホームページ、SNSで掲載をし、周知を図っていきます。



**Q** 非常に大きな効果があり、取組を推進すべきと考える。土日祝日を全て特定

**A** 繁忙期の土日祝日を中心に1時間当たりの普通車料金を300円から500円に、大型バス料金を1,000円から1,500円に変更する特定日を設定しました。1年間の効果として約1,250万円の歳入増となり、普通車は約1,900台の減少となりました。運用においては大きな問題はありませ



非常に大きな効果があり、取組を推進すべきと考える。土日祝日を全て特定

**Q** 令和5年11月議会の一般質問にて、交通混雑の緩和と財源確保の観点から、観光駐車場料金の見直しを提案した。令和6年11月より特定日料金が設定され1年が経過した。設定したことによる効果と課題について伺う。

**A** 日として増加、あるいは利用料金の値上げを提案する。歳入増や運用において問題が無いことから、特定日の増加を考えています。具体的には令和8年度は、4月、5月、9月、10月、11月、1月、3月の土日祝日の全てと、お盆や正月期間などを対象として、令和7年度の46日間に対して91日間を設定する予定です。料金については、現時点で値上げする予定はありません。特定日の増加を優先して進めていきます。

非常に大きな効果があり、取組を推進すべきと考える。土日祝日を全て特定

**Q** 令和7年9月議会の答弁で、来年度2園の統合により保育士に余裕が生じる。加配が必要な子どもへの対応や誰でも通園制度、育休退園制度の廃止についても対応できると考える。市長は共働き世帯の割合も増え、保育園事情においては保育ニーズが高くなっている。「来るまち犬山」から「住むまち犬山」に転換していくために、働き世代や若い世代に入園で不安にさせない体制を整えなければならぬ。保育園の質の向上、子育て世代の存在は大きいと感じているという答弁だった。一方で、待機児童の問題もあり、保育施設に入れないことで就労の困難、育児疲労や生活苦、虐待や育児放棄のリスク、女性の



**A** 現時点では入園希望者数を取りまとめ中で、どのくらい保育士が必要なのか未確定な状況ですが、保育士の配置、園の受入れを工夫しながら、できるだけ早い時期に制度が廃止できるよう前向きに調整しているところです。

### 消防団大学生等活動認証制度について



創代会 畑 竜介

**Q** 消防団員数が全国的に減少し、本市でも団員確保が課題である。若い世代の地域活動への関心が高まりつつあり、私の次男と友人も制度を知ったことが入団の後押しとなった。制度は学生の功績を認証し、就職活動に活用するものであると考えるが、認証者数や利用状況、学生と企業への周知状況、さらに団員確保の課題について見解を伺う。

**A** 制度は令和元年度に発足し、現在までの認証者は1名です。認証後の進路は不明ですが、官公庁志望者が多いと認識しています。大学で説明会を実施しましたが、企業周知は不十分で課題でありま



**Q** 必要であると考えております。証明書を書生にとって魅力あるものにするため、活動で身につく力の一覧や履歴書記入例などのガイド作成、企業説明会にPR枠を設け、経験を発表できる場を作ることが提案するかがが。証明書を書生にとって魅力あるものにするために、学生団員へ就活資料等を用意し、支援体制を充実させます。また、企業には制度の広報を行い、理解促進に努めてまいります。

### 介護支援ボランティアについて 制度創設の提案



創代会 小川 清美

**Q** 東京都稲城市は、平成19年度から介護支援ボランティア制度を導入している。介護支援ボランティア活動を行った高齢者個人が、ボランティア受入れ機関等からスタンプを貰い、スタンプをポイントに変換したうえで、ポイント交付金として、年間最大五千円が市から個人に交付されるというもので、本市でも、こうした制度を導入してはどうか。

**A** この制度は、高齢者によるボランティア活動を通じて高齢者の社会参加を支援し、介護予防につながる仕組みで、県内では、小牧市や日進市で実施しています。導入にあたっては、担い手となる高齢者と、受入れ先となる事業所などのマッチング



が必要となりますが、現時点では、それぞれの状況が把握できていません。また、シルバー人材センターが実施する事業との競合も考慮すべき課題です。検討に際しては、質と量の面で安定した担い手が確保できるのかという点などのほか、市が抱える行政課題の解決に繋がるような仕組みとすることが好ましいと思います。情報収集と分析に着手し、本市ならではの介護支援ボランティア活動を考えます。

### 持続可能な観光まちづくり (観光駐車場について)



創代会 柴田 浩行

### 子ども未来園の現状について



ピアンキ 恵子

**Q** 令和5年11月議会の一般質問にて、交通混雑の緩和と財源確保の観点から、観光駐車場料金の見直しを提案した。令和6年11月より特定日料金が設定され1年が経過した。設定したことによる効果と課題について伺う。

**A** 日として増加、あるいは利用料金の値上げを提案する。歳入増や運用において問題が無いことから、特定日の増加を考えています。具体的には令和8年度は、4月、5月、9月、10月、11月、1月、3月の土日祝日の全てと、お盆や正月期間などを対象として、令和7年度の46日間に対して91日間を設定する予定です。料金については、現時点で値上げする予定はありません。特定日の増加を優先して進めていきます。

**Q** 令和7年9月議会の答弁で、来年度2園の統合により保育士に余裕が生じる。加配が必要な子どもへの対応や誰でも通園制度、育休退園制度の廃止についても対応できると考える。市長は共働き世帯の割合も増え、保育園事情においては保育ニーズが高くなっている。「来るまち犬山」から「住むまち犬山」に転換していくために、働き世代や若い世代に入園で不安にさせない体制を整えなければならぬ。保育園の質の向上、子育て世代の存在は大きいと感じているという答弁だった。一方で、待機児童の問題もあり、保育施設に入れないことで就労の困難、育児疲労や生活苦、虐待や育児放棄のリスク、女性の

**A** 現時点では入園希望者数を取りまとめ中で、どのくらい保育士が必要なのか未確定な状況ですが、保育士の配置、園の受入れを工夫しながら、できるだけ早い時期に制度が廃止できるよう前向きに調整しているところです。

**Q** 事件から既に1年半たっている。市は既に令和6年末に報告書をまとめ、それをもとに改革を進め



**A** 以前は、児童の一時保護を解除するにあたり、児童相談所から事前の連絡等がないケースもありましたが、現在は一時保護解除前には必ず連絡を受け、関連機関と会議を開催し、以後のかかり方の調整を行うようになりました。また、一時保護解除後にも児童相談所と共に市も継続指導に同行し、市が引き継ぐ際の連絡調整もしっかり行うようになりました。

**Q** 犬山市は、令和6年12月に内部検証報告書をまとめているが、その後、犬山市の児童虐待に対する対応はどのように変わったか。

**A** 県は第三者委員会を設置し、令和7年3月18日の中間報告では令和7年度中には最終報告をまとめる方針と発表していますが、現時点では報告は発表されていません。新年度になっても報告がない場合は、確認をしていきます。

**Q** フロイデの温水プールの在り方については、現状の利用状況や近隣自治体の温水プールの事例・現状などを踏まえて検討を行いました。民間事業者に対して聞き取りを行いました。民間事業者を運営することは困難であり、改善提案もありませんでした。近隣にプールの利用者を受入れ可能な施設はなく、新たな施設を公営で新設した場合のコストは、フロイデプールを維持するコストを



**A** フロイデの温水プールの在り方については、現状の利用状況や近隣自治体の温水プールの事例・現状などを踏まえて検討を行いました。民間事業者を運営することは困難であり、改善提案もありませんでした。近隣にプールの利用者を受入れ可能な施設はなく、新たな施設を公営で新設した場合のコストは、フロイデプールを維持するコストを

上回る試算額となりました。年間を通じて多くの市民に利用され、利用者数は年々増加しており、市民ニーズが高い施設です。今井小学校と栗栖小学校の水泳授業や、中学校の休日合同クラブで活用されるなど、子どもたちの利用機会が多いプールです。こうした現状から温水プールについては、施設を維持するための必要最低限の補修を行い、市民の健康づくりのためのスポーツ施設として引き続き維持していきます。

### 児童虐待（疑い）死亡事案について



清風会  
柴山 一生

### フロイデ温水プールの在り方について



創犬会  
大沢 秀教

## 一般質問

### 名鉄富岡前駅のトイレの設置について



丸山 幸治

**Q** 名鉄富岡前駅にはトイレが設置されていないが、住民・利用者から不便の声が寄せられている。最寄りのコンビニも遠く離れており非常に不便だ。駅にトイレが無いことにより、高齢者や子ども連れの負担となり、体調不良等に対応できない。駅周辺で野外排泄が発生しているとの苦情もある。災害や電車の運行停止時の場面も大きな不安がある。周辺の商店などの公衆トイレ化のリスク、観光都市の印象低下の懸念もある。トイレの設置予定はないか。



**A** 富岡前駅へのトイレ新設については、名古屋鉄道に、近隣4市2町で構成する尾北地区広域交通網対策連絡協議会から小牧線の複線化等と合わせ、

**Q** 名鉄が設置しない場合、簡易式やプレハブ型ユニバーサルトイレ等であれば、300万円程度から設置できるため、市が公衆トイレを設置できないか。

**A** 公衆トイレの設置に伴う維持管理が必要となること、駅周辺に適当な土地を市が所有していないことなどから、現時点での設置は難しいと考えています。

**Q** 私自身がサバイバーとなり、教育の重要性を強く感じている。小中学校で進めているがん教育の取組について現状を伺う。

**A** 名鉄が設置しない場合、簡易式やプレハブ型ユニバーサルトイレ等であれば、300万円程度から設置できるため、市が公衆トイレを設置できないか。

**Q** 今後のがん教育の展開で新たな取組を考えているか。子どもたちが、がん患者やがんに関わる人の話を聞く機会を設けることはできないか。

### 小中学校におけるがん教育の推進について



公明  
クラブ  
島田 亜紀

**A** 現状実施している授業は



**Q** 今後のがん教育の展開で新たな取組を考えているか。子どもたちが、がん患者やがんに関わる人の話を聞く機会を設けることはできないか。

**A** 現状実施している授業は

**Q** 私自身がサバイバーとなり、教育の重要性を強く感じている。小中学校で進めているがん教育の取組について現状を伺う。

継続しつつ、より理解を深めていくため、がんに関わる方や家族など、当事者の体験談を聴くことは効果的であると考えています。そこで新たな取組として、本年度、池野小学校において医療ソーシャルワーカーの講師を招き「がん」を通して命の大切さについて考える授業を予定しています。今後もそうした機会を設けることで、がんという病気を通じて、命の大切さや生きることの意義を自分事として考えていけるような授業を実践してまいります。

**Q** さくら・さくらの湯の受益者負担率はいかがか。

**A** 受益者負担率は、一般利用者で令和6年度は約66%、令和7年度は約69%



**Q** 私のご郷、新潟県には、「じよんのび（ゆったり、のんびり）」という方言があり、お風呂に関連した施設にも多く使われている。ゆったりとした時間を過ごし、ストレスも無しにできることは非常に大事。知恵と力で持続可能にするのが、さくら・さくらの湯を引き継いできた者の使命だと思つた。

**A** 現在、さくら・さくらの湯の利用者の増減はどうか。4月から10月までの期間の利用者数で、令和6年度3万9,613人、令和7年度4万7,196人となっており、率にして19%増となっている。

**Q** 柱は3つ。①利用状況②持続可能な運営③市民健康館として果たす役割と機能です。方向が固まり次第、検討の経緯を含めて、その方向性を示していきたいと思つています。



**Q** 私の故郷、新潟県には、「じよんのび（ゆったり、のんびり）」という方言があり、お風呂に関連した施設にも多く使われている。ゆったりとした時間を過ごし、ストレスも無しにできることは非常に大事。知恵と力で持続可能にするのが、さくら・さくらの湯を引き継いできた者の使命だと思つた。

**A** 現在、さくら・さくらの湯の利用者の増減はどうか。4月から10月までの期間の利用者数で、令和6年度3万9,613人、令和7年度4万7,196人となっており、率にして19%増となっている。



**Q** 10月30日に「令和7年度議員研修会」を開催しました。今年度、議会運営委員会では、「ハラスメントの防止意識向上について」を所管事務調査として実施しています。今回は、講師に(株)メンタル・リンク代表取締役社長宮本剛志氏をお招きし、「議員活動に役立つハラスメント対策」についてご講義いただきました。研修では、各自、「パワハラワークシート」を使って、ハラスメントだと思う箇所に線を引き、その理由を考えた後、グループに分かれて意見交換をいたしました。意見交換後、講師よりハラスメント該当箇所について説明を受けると、自分の回答では線が引いたが、実際は該当しなかったり、線が引けていない部分があったりして、驚いている様子でした。次に、上司役と部下役になってロールプレイングを行い、体感しながらハラスメントについて理解を深めました。本研修は、議員と職員が参加し、相互で理解を深める機会となり、大変有意義なものとなりました。

### 大手門枿形跡（福祉会館跡地）の整備について



日本共産党  
犬山市議員  
岡村 千里

**Q** 大手門枿形跡は、発掘調査により土塁や堀、大手口などの遺構があることがわかった。南西側に便益施設を建設する予定とされる。便益施設は、公募型プロポーザル方式で事業者の選定が行われたが、どのような理由で行うことになったか。

**A** 史跡整備にあたり、正面玄関である福祉会館跡地を犬山城入口ゾーンと位置づけ、必要な機能として史跡指定地内に便益施設を建設することを文化庁と協議を重ねてきました。高度な発想力や設計能力、豊富な経験が必要であるため、公募型プロポーザル方式が適切だと判断しました。

地の南西側で、かつては犬山城の大手口があった場所に建設します。鉄骨造の平屋建てで陸屋根とし、壁面の一部をガラス張りにする計画で進めています。機能は、犬山城見学に必要なトイレ、休憩所、展示などを予定しています。展示は、パネルや映像による展示、触れる立体模型の設置、床面を利用した絵図の展示などを検討しています。

**Q** 便益施設とは、どのような施設になるのか。

**A** 便益施設は、福祉会館跡



### 小規模な小学校はこれからどうなる？



清風会  
久世 高裕

**Q** 小学校の小規模校について、市長と教育長は「残していく」という方針を明言しており、自分もそれには賛同する。だが、全小中学校をこの3年間で継続して訪問する中で、グループディスカッションなど他校で行っているような効果的な学習を行えないのは本当に児童のためになっていくのか、という視点で考えるようになった。小規模校の良さを市内外にアピールし、学区にとられず選択できるようにしたり、山村留学を都市部から受け入れるなど、人数を増やす努力をもっとすべきではないか。

**A** 小規模校は目が行き届きやすく、異学年交流を通じて思いやりや主体性、リーダーシップが育つ

ど、固有の教育的価値があります。学習面での課題については、専科教員の配置やカリキュラムの工夫、学校間交流などで補っています。ご指摘のとおり、子どもにとって本当に最善の学習環境かを考えることは重要であり、単に学校を守るというだけではなく、より価値を高め、小規模校の存在意義を示しながら、子どもたちのための学校として、学びの質と特色の充実に取り組んでまいります。



### 議員研修会を開催しました

## 常任委員会 行政視察結果報告

犬山市議会では、議会改革の一環として委員会での議員間討議や調査研究を重視し、各常任委員会は毎年テーマを定めて調査研究活動をしています。委員会から提出された視察報告書をご紹介します。

### 《令和7年度所管事務調査》

#### 総務委員会

- ・消防体制強化の在り方について
- ・地域公共交通について

#### 民生文教委員会

- ・小規模保育事業について
- ・図書館の在り方について
- ・中学校部活動の地域移行について

#### 建設経済委員会

- ・観光客の滞在時間延長（宿泊客の増）について
- ・農地の利活用について

### 民生文教委員会

日程 10月7日(火)～8日(水)  
視察先 岡山県高梁市・兵庫県西宮市

高梁市立図書館は、「未来につなぐ図書館」をコンセプトに2017年に移転オープンしました。以前に比べ入館者数が約20倍、経済効果も年間約12億円と試算され、図書館を起点としたまちづくりに成功しています。また、民間企業が図書館、本屋、カフェ、雑貨販売、イベント運営等を行い、若者の集える場所と文学の発展、地域交流の要素を見事に融合されており、民間と上手く連携し、行政だけでは難しいアイデアやサービスの提供も行えています。図書館の在り方について、複眼的に考察できる機会となりました。

西宮市では、小規模保育事業所について視察し、人口動向を踏まえた重点整備地域の設定や、民間主体で公立は安全網という明確な役割分担が印象的でした。1～3歳児への細やかな保育、園とのスムーズな連携体制、家賃補助や勤続支援金による職員定着策など、安全運営の仕組みが整えられています。犬山市でも小規模保育の導入と連携ルートの明確化、住宅開発と保育整備時期を調整する仕組み、人口に応じた柔軟な受入れ体制の構築を検討すべきと感じました。



### 総務委員会

#### 日程 10月7日(火)～8日(水) 視察先 東京都武蔵野市・静岡県掛川市

総務委員会では、公共交通、消防体制及び働き方改革の取組について調査するため、東京都武蔵野市及び静岡県掛川市を視察しました。

武蔵野市では、コミュニティバス「ムーバス」を中心とした公共交通施策について説明を受け、市民の日常の移動を支える仕組みや、福祉・まちづくりなど複数分野に効果を及ぼす視点を含めた取組について理解を深めました。あわせて武蔵野市の消防施設を見学し、施設の配置や運用の様子を確認するとともに、将来の更新や体制維持を見据えた消防力確保の重要性を認識しました。

掛川市では、市役所における働き方改革の取組について視察を行いました。業務の見直しやデジタル化、職員の意識改革を通じて、働きやすい職場環境づくりと行政サービスの質の向上を両立させている点が特徴的でした。

今回の視察で得た知見を、今後の委員会活動や市政運営に生かしていきます。



### 建設経済委員会

#### 日程 10月8日(水)～10日(金) 視察先 神奈川県三浦市・埼玉県加須市・栃木県日光市

三浦市では、市長直轄チームが公共用地の再生とPPP(※)を迅速に進め、高付加価値観光を創出していました。食と体験を融合した取組により地域ブランドを高めており、行政と民間の明確な役割分担による共創体制は、犬山市にも大きな示唆を与えるものでした。

加須市の田んぼオーナー制度は、耕作放棄地の発生を防ぎながら20年にわたり継続され、農地管理と交流人口拡大を両立していました。家族参加型体験を通じて地域への関心を高め、ふるさと納税との連携も進むなど、犬山市に有用な知見を得ました。

日光市では、グリーンスローモビリティ導入により、市内観光の回遊性向上を図っていました。小型EVバスで従来行きにくい地域を結び、移動自体を観光価値として提供していました。滞在時間の延長にも寄与し、犬山市の広域導線検討の参考になりました。

(※)PPP 公共施設等の建設維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの



# 表紙写真を募集します!!

犬山市議会では、より市民に親しみを持ってもらい読んでいただくための取組として、次号の表紙写真の募集をします。

## ●募集要件

- ・縦撮りを原則とし、圧縮等をしていない高画質画像
- ・データでの提供が可能。
- ・犬山市に関する写真(風景・人物・絵など)かつ、著作権の侵害に該当していないもので未発表のもの(人物を含む場合には本人の承諾を必ず得ること。)
- ・表紙に合わせるための画像の微調整に同意できる。
- ・写真使用料は無償とすることに同意できる。



## ●応募方法

- ・期限 令和8年3月19日(木)まで
- ・提出先 犬山市議会事務局
- ・方法 住所・氏名・連絡先・写真テーマ名を記入して、写真データを添付し、メールで応募(お一人1点応募可)
- ・結果 採用された方には犬山市議会事務局より事前に確認の連絡をさせていただきます。



## 編集後記

市議会広報委員会

島田 亜紀

1月は、犬山総合高校や市民の皆さまとの意見交換会、そして4年に一度の「いちにち女性議会」と、学びの多い月となりました。ご参加くださった皆さまに心より感謝申し上げます。そこで頂戴した声は、私たちの議論の原点です。小さな声も見落とさず、議会での検討を重ね、改善につなげてまいります。今後も市民に寄り添い、対話を大切に行動してまいります。

- 委員長 小川隆広
- 副委員長 畑竜介
- 委員 増田修治・光清毅・島田亜紀・沼靖子

## 次回2月定例議会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23	24	25	26	27	28
			再開日			
3/1	2	3	4	5	6	7
	補正予算審議		一般質問			
8	9	10	11	12	13	14
	一般質問		議案質疑	全員協議会		
15	16	17	18	19	20	21
		委員会				
22	23	24	25	26	27	28
	最終日					

2月定例議会で審議・審査する請願・陳情の受理は2月17日(火)正午までです。

今号の表紙  
道家晴規様の「青塚古墳の朝」を使用させていただきました。ありがとうございました。

## ～ YouTube配信をしています～

本会議、常任委員会、全員協議会などの会議の生中継・録画中継を行っています。  
本会議の傍聴席では発言を字幕で見ることができ、字幕はインターネット上で閲覧することもできます。



犬山市議会HP議会中継